

育児院だより

2017年3月13日

第57号 発行 社会福祉法人 児童養護施設 埼玉育児院



発行責任者 柴山 英士

編集 埼玉育児院広報委員会

〒350-1175 埼玉県川越市大字笠幡 4904-1 TEL049・231・2107 Fax049・231・2111

埼玉育児院の子育て

3月は旅立ちや別れの季節です。この季節は、嬉しさや感激半分後悔半分といった心境でいることがしばしばです。もっとこうもしてあげれば、ああもしてあげればよかったとの後悔が先に立つことがあるからです。子どもたちは、一人一人がそれぞれ違う傷みやニーズを抱えて埼玉育児院という環境に身をゆだね、決して望んだ境遇ではない宿命を負ってそれぞれの年月を同じ環境で過ごすことを余儀なくされて生きています。この子どもたちに対するとき、職員たちの共通目標が絶対に必要な事柄があります。それは、「埼玉育児院ではこんな子どもを育てていきます」という目標です。埼玉育児院の理念および養育方針には、子どもたち一人一人の自己実現を目指し、自己肯定感を高め自主自尊の芽を育むとあります。この理念・方針をより具体的に示すのが「埼玉育児院ではこんな子どもを育てていきます」ということではないでしょうか。

先日高校生の子と話す機会がありました。いろいろな話をしていく中で『私ね、〇〇さん、××さん、◎◎さん嫌い。でも、△△さん好きだよ。□□さんも。』と職員の名前をあげつらって教えてくれました。そこで私、『嫌いな職員さんと好きな職員さんの違いは何なのか教えてくれる?』と聞いてみました。すると『わかんないよ。どうしてかな?』としばらく考え込んでいましたが、やがて『感じるんだよ。なんか温かいていうか、分かるもんが』とのこと。言葉にはならなかったけれど、すんと私に伝わるものがありました。さらに、『◇◇さんは嫌い、だけど好きかも。』というので、どうしてなのかそのわけを聞きました。『すっげーけんかもするけど、なんかわかってきているんだよな。』とのこと。この子は3歳未満での入所で、いわばずっと育児院で育っている子です。高校生という今、職員に言わせれば自分勝手な自己中心的で結構手のかかる子とのこと。その後、私はこの子との話を反芻しながら、子どもの育ちで最も大事にしなければならないことを子どもから教わりました。施設で暮らす子どもたちにとって、毎日繰り返される何気ない日常。この繰り返される営みの中で、関わる大人(職員)がしっかりと慈しみと優しさ(時に叱ることも)のある眼差しで生活を共にすること。その繰り返しを職員は目的意識的に意識して関わることで、この子が言った『感じるんだよ。なんか温かいていうか、分かるもんが』という気持ちが育つのではないのでしょうか。しっかりと他者を受け入れ相互に人間関係を育むことができる人に育っていくのではないのでしょうか。しつけや社会性や学習も自立にとってももちろん大事ではありますが、社会に自立するとは人間関係を構築する力がついていることが最も大切なのではないのでしょうか。埼玉育児院ではこういう子を育てていこうと考えています。

埼玉育児院 院長 柴山英士



冬休みの思い出

松本ホーム

体調を大きく崩すことなく、のんびりと過ごす事ができました。初詣は全員で神社に行き、お節やお雑煮、おしるこなどと、正月料理を楽しみました。

原田ホーム

1月1日みんなで公共機関を利用して初詣に行きました。電車の中では静かに過ごし、車を意識して道の端を歩き、とてもマナーが良かったです。子どもの成長を感じ、新年良いスタートになりました。

たんぼぼ

1月3日に初詣に氷川神社へ行きました。大勢の参拝客で賑わっており、迷子にならないか心配でしたが、中学生が小さいこと手をつないでくれて安心して参拝できました。

つばき

氷川神社へ初詣に行きました。多くの人が集まっており、並んでいる人の列を見てみんな驚いていました。神社の屋台でおいしいものを食べ、川越の街を散策しました。

コスモス吉

冬休み中、中高生はWii 漬けの日々でした。隣の家の子も呼んで「おりゃー、必殺〇〇〇ー」と男のプライドをかけ大熱戦が繰り広げられていました。小さい子たちは初めてレンタルショップに行き、お気に入りのDVDを見つけ大興奮、繰り返し何回も見ていました。

はなみずき

大晦日は年越しそばを食べ、みんなでTVを見て過ごしました。ほとんどの子が起きていて年を越しました。初詣にも行き、お正月はお節料理も楽しみました。

コスモス式

1月5日氷川神社に初詣へ行きましたが、お参りよりも出店に夢中！フライドポテトをみんなでつつきあっていたのが思い出深かったです。お参りで引いたおみくじを見ながら、1年間何を頑張るかみんなで決めていました。

さくら

帰省の子どもたちが少なかったため、普通の生活と変わりなく冬休みを過ごしました。のんびりと過ごし、年越しには「明けましておめでとう」の挨拶ができました。一人ひとりの顔はとてもすがすがしく、新しい年を笑顔で迎えました。

りんご

初詣は恒例になっている氷川神社へ行ってきました。お年玉をもって好きな物を買いました。女の子なので初売りにも参戦！大好きなショップの洋服を買うことができたトルンでした。





鬼は外！福は内！！

各お家の節分

GH松本

年男のTさんに豆をまいてもらいました。毎年率先して鬼役をしてくれるTくん。いつもと違う役に照れながらも元気に豆まきをしてくれました。

夕食は恵方巻といわしのフライでした。今年はいわしのフライだけが職員の手作り。来年までに上手に太巻きが作れるように練習します・・・

原田ホーム

恵方巻を手作りし、みんなで北北西を向いて話をせず、願い事をして食べましたが笑ってしまいました。願いごとはお互いに教え合っていました。叶うといいですね♪職員が鬼の面をつけて追いかけるので子どもたちは全力で豆まき。投げずに残しておいて食べている子もいました。歳の数はいくら食べようと伝えていましたが、みんなそれ以上に食べていました。

コスモス寺&りんご

当日の準備が出遅れたのか節分用の豆がなく、アーモンド・カシューナッツ・ジャイアントコーンなどで豆まきを。それを見た子どもたちからは「酒のつまみ?!」と一言。豆まき自体はにぎやかに邪気を祓いました。準備は早めに・・・ですね。



コスモス寺&さくら

まずは節分の理解から・・・と、事前に節分について調べ、掲示し、準備万端。恒例のゲーム式豆まき。今年は的あて。節分の豆が小分けになったものを的に投げて入ったらお菓子の詰め合わせゲット！という形をとりみんなで盛りあがりました。遠くから投げたり、的を小さくしたりと工夫をして、難易度をあえてあげている子もいました。

たんぼぼ

幼稚園でつくってきた鬼のぼうしを使って豆まきをしました。かわいらしい鬼のぼうしでしたが、小さい子にとってはやはり怖かったようです。

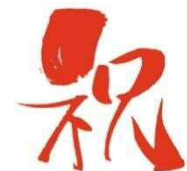
最後に、年の数だけ豆を食べて過ごしました

はなみずき&つばき

つばきの家では下の子2人が鬼に立候補。廊下で豆まきをやり、みんな何度も何度も拾って投げていました。鬼役の2人も最後まで全うしてくれ楽しい節分を過ごしました。はなみずきの家では職員の本格的な鬼に幼児さんが大泣きしていました。



新成人の集い



今年度は退所児のうち7名が新成人を迎えました。都合により、成人の集いへの出席者は2名でしたが、当時の生活の様子を知る職員も交え、和気あいあいとしたあたたかな会となりました。

彼らからは施設での生活、仕事を続けられる理由、やりがいなどの話をしてもらいました。スーツに身を包んだ彼らは素敵で、彼らとの会話のやりとりに職員は懐かしさを感じつつ、受け答えがしっかりしている、返答も大人になっていると感じ、確実に成長している姿を見て感激しました。

新成人の皆様の今後のさらなる活躍と健康を願い、応援しつつ、この先、何かあってもなくても埼玉育児院に来たらほっとできるなと感じてもらえる存在でありたいです。



受験と旅立ち



もう3月ですが、まだ寒さの残るこの時期。新学年に向けて「高校・専門学校進学、自立に向けて」新たなスタートを切ろうと頑張っている子どもたちを紹介したいと思います。

たんぽぽ Mちゃんが高校受験に向けて学校・塾と忙しい毎日を過ごしています。Mちゃんはもともと絵を書くことが得意で、現在埼玉県に数少ない美術科への受験に挑戦しています。本人の「好きなこと」を高校生になったらさらに力がつくよう応援していきます。

つばき・はなみずき Kちゃん、Kくんの受験がありました。中学校1年生から塾に通い始めたK君ですが、最初に取り掛かったのは小学校4年生からの復習……。最終的には偏差値も上がり、今では希望高校も安全圏。土台をしっかりと作ってきたことが今の状況に繋がっていると感じます。頑張ってきた3年間で合格を勝ち取ってくれると信じています。

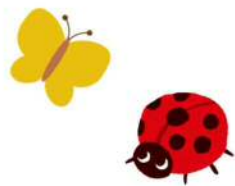
さくら Aちゃんが自立に向けて、就職活動に取り組みました。自分のやりたいことがなかなか見つからないAちゃんでしたが、音楽が好きで音楽に携わりたいという意思で、カラオケ店でのバイトから正社員雇用を目指し頑張っています。スロースターターではありましたが、今のところは波に乗れているので一安心しています。

りんご・コスモス Hちゃんの高校進学・Kくんの専門学校進学に向けて取り組みました。Hちゃんは12月にこちらに引っ越し、転校となりました。環境の変化が大きい中で高校受験の季節を迎え、本人にとっては負担がかかる時期になったと思います。しかし一つひとつ整理をしていきながら高校を決めました。また、Kくんは自動車整備関係の専門学校への進学が決まりました。もともと学校での成績がよく、指定校推薦で難なく合格。施設を出るにあたり就職する子が多い中、Kくんの挑戦する気持ちを最大限に応援していきます。

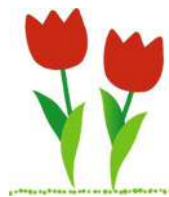
グループホーム松本 Rくんの高校受験がありました。最初は好スタートをきり絶好調であったRくん。ただ、受験生はどの子も頑張ります。周りの学力が伸びてくるのを身を持って感じていました。夏過ぎからやっとエンジンがかかり、集中力をあげ、徹夜もしながら学習に励んでいます。

グループホーム原田 Aちゃんが就職活動に向けて取り組んでいます。ハローワークに通いましたが、なかなかやりたいことを見つけられずにいました。現在はワーカーズコープの力も借りながら、飲食店で働いています。知らない場所に飛び込むことは大きな一歩であったと感じています。これを継続していくことが次の本人の課題のように感じます。

高校受験、全員合格!!



埼玉育児院



グループホームの生活

埼玉育児院には、地域小規模児童養護施設施設が2か所あります。グループホームの大きな特徴の一つが1日3回のお家の台所での調理です。各ホームの職員が、自由に献立を立て買い物へ行き、調理をしています。子どもの誕生日には、子どもが食べたいメニュー、食べたいケーキを選ぶことができます。また、一人一部屋の個室がある事も特徴の一つです。

各ホームの様子を聞いてみました！！



松本ホーム

地域の中の一軒家に男女6人で暮らしています。地域のゴミゼロ運動や資源回収等にも子どもと一緒に参加しています。子どもが「～食べたいな」とリクエストしてくれたものをすぐに作ってあげられることがメリットで、調理中の味見にはだいたい「うまい」「丁度良い」と言っています。休日は、子どもと一緒に買い物に出かけたり、おやつ作りをしたりして、のんびり過ごしています。

松本ホームではカメ(名前はメカと言います)を飼っていて、子ども、職員みんなで大事に育てています！



原田ホーム

小学生から高校生までの男の子3人、女の子3人が生活しています。調理をしていると子どもたちが味見にやってきます。積極的に調理を手伝ってくれる子もいます。リンゴの皮むきがみんな上手にできるようになりました！また、近隣の方と野菜を育てたり、カブトムシの捕まえ方を教えてもらったりと良い近所付き合いもできています。よく、子ども達の友人がホームに遊びに来ているので、一般家庭とのやり取りの機会も自然と多くなります。

6人の子ども達が小さな経験をしながらそれぞれのペースで生活している原田ホームです！



子育て支援事業【ひまわりルーム】

埼玉育児院では川越市から委託を受け、ショートステイ事業・トワイライトステイ事業を運営しています。

※ショートステイ：家庭で児童の養育が一時的に困難になった時、施設で宿泊を伴う養育、保護を行ないます。

※トワイライト：17時～21時30分まで「お子さんをお預かりします。」

※開所日は月～金曜日です。土、日、祝日は行なっていません。

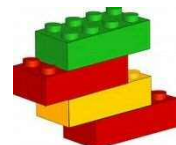


ショートステイの一日

この日は、4歳の男の子の利用(Kくん)。10時にお迎えに行き、ひまわりルームに到着！！すぐに保育士と一緒にブロックやお絵描きをして遊びました。やっぱり男の子！元気いっぱい、この日はお散歩に行きました！近所に公園が沢山あるので公園へ行き遊びました。公園では、地域の子どもたちや、保育園の子どもたちと一緒に遊んでいました。その後、昼食を食べて、お昼寝zzz…おやつを食べ、夕方17時以降はトワイライト利用の小学生たちも来て賑やか！沢山遊んでもらっていました。そして入浴…始めは「入りたくない…」と言っていました。お風呂の中におもちゃを入れて遊びながらゆっくり入浴タイム。20時お布団へ！「ママ…」と今日の初日は少し寂しく涙を見せていましたが、寝る前に絵本の読み聞かせをすると朝までグッスリzzz起きてからはTVを観たり、朝食を食べたり。Kくんの一番の楽しみは公園へお散歩とのことでした。二泊三日のご利用でしたがとても楽しそうに過ごしていました！



子どもたちの遊び人気ランキング



1位…人生ゲーム

※利用する子によって遊びはそれぞれバラバラですが、

2位…LEGOブロック

ドラえものの漫画は大人気です。

3位…ぬいぐるみ

女の子は、折り紙やお絵描きも人気です。

トワイライトは金曜日の利用者が多く、テレビ『ドラえもん』『クレヨンしんちゃん』は定番で楽しくみんなで観ています。また、録画してあるTVやDVDも楽しみのひとつになっています。

LEGOブロックで作ったお家や車については、「また来週も来るからそのまま飾っておいてねっ！」と次に来るのを楽しみにしている子もいます。



28年度育児院だよりの年間連載企画。児童福祉や社会的養護に関する新聞記事に対し、育児院の状況や課題などをお伝えします。

今年度も最後となりますが、一番大事なことを掲載せずには終われないと、今回は特定の新聞記事ではなく、平成28年5月に成立した**児童福祉法の改正**に関して考えたいと思います。あるサイトで塩崎厚労大臣が話していたことを簡単にまとめてみます。

今回の法改正の中で、一番大きな変化として、**児童福祉法**の中に「**子どもの権利**」を明記したこと。今までは「**子どもの利益のために**」という文言はあったものの、これはあくまで親権者の監護教育における観点であり、虐待防止をはじめとする、**子どもの命を救うための方策を進めるためには、まず子どもの権利がしっかり保障されていなければいけない**。やっと一歩が踏み出せた。

子どもの権利が法律に明文化されれば、できることも広がっていく。

日経 DUAL 2月1・2日配信記事から抜粋

「**子どもの権利**」が明文化されたことで変化したものとは具体的に何でしょう？

ひとつは、これまで施設偏重だったといわれる方針を大きく転換して家庭養護重視へと変わったことです。児童の保護が必要となった場合、まずは家庭状況が改善されればいつでも戻れるように環境を整える。それでもうまくいかないときは、特別養子縁組や里親制度の家庭養護をベストとし、それでもうまくいかない場合は、生活単位を少人数とする家庭的養護を検討することが原則という方針になりました。

施設の集団生活では困難な、「肌ぬくもり」を感じられる家庭的な環境で養育を受けられることが、子どもの権利擁護にかなう、という塩崎大臣の思いです。

そのため、特別養子縁組や里親も積極的に支援する体制を整えるようになっていきます。今まで、民間で運

営されていた特別養子縁組あっせん団体は、それぞれの団体が都道府県に申請すれば運営できましたが、12月に『特別養子縁組あっせん法』が成立したことにより申請制度ではなく、許可制度になりました。何か問題が起きた時も、今までは行政の関与がありませんでしたが、今後は都道府県から業務停止命令を出すことができるようになるので、特別養子縁組の健全な促進が期待されます。また、里親支援が児童相談所の役割と明記されました。児童相談所を中心とした連携体制を構築していく必要があります。

次に、児童の保護が必要な場合、児童相談所と保護者の間に家庭裁判所が第三者として関与する仕組みが改正案として厚労省から提出されることも大きな変化の一つです。児童を保護した状況がなかなか改善しなければ、法律に基づく司法の力をもって、家庭環境の改善を促したり、里親や特別養子縁組を促進したりすることができるようになります。

改正児童福祉法では児童相談所に弁護士の配置も義務化され、福祉新聞(H29年2月27日)によると、弁護士の配置がある児相は21.4%、弁護士事務所と契約し相談できる児相が78.6%となっているそうです。今後、私たち施設職員が児相や市町村と連携する中に、弁護士が加わることも増えることでしょう。

法律に「**子どもの権利**」と入れた狙いは、**司法を動かすことです**。子どもの命を守るために、裁判所も司法としての役割を果たしてほしいと議論しています。
(同・塩崎大臣)

日本では、「**子どもの権利**」よりも「**親権**」が強く、親の思いに子どもが振り回されてしまう場合があります。親の引き取り希望があるものの、状況が改善されず結果的に施設での集団生活を18歳まで送ると、里親や特別養子縁組など家庭の中で育つのでは、子どものその後の人生に大きな影響があります。

子どもの命、子どもの育ち、子どもの人生、子どもの権利を最優先に考え、それに見合った措置が実現することを、今回の児童福祉法改正に期待します。



1月

- 1日：松本H・原田H・Dブロック初詣
- 3日：A・Bブロック初詣
- 5日：Cブロック初詣
- 7日：評議員会・理事会
- 10日：始業式
- 14日：成人の日の集い
- 15日：ローラーブレード
- 17日：部署別/職員会議/服務委員会
- 18日：委員会/部署別/ひまわり会議
川越児相措置後調査
- 20日：コスモス巻きスキーレク(～22日)/施設長会(院長)
- 21日：埼玉協研修委員会/施設長会
- 24日：埼玉研フォローアップ研修(戸川)
- 25日：部署別/ケース会議/処遇主任会議/避難訓練
- 31日：第三者評価職員報告会/部署別/主任会議

2月

- 1日：院内研修/第2回人事について考える会
- 2日：施設長県外視察研修(～3日)(院長・戸川)
第4回里親支援SW連絡会(須藤)
- 5日：カナエール説明会/ファミリーシップフェスタ(須藤)
- 6日：埼玉研臨時会議(戸川)/中堅フォローアップ研修(谷本)
里親研修会(須藤)
- 7日：里親委託推進委員会(須藤)
- 8日：職員会議/養育会議
- 10日：埼玉県子育て支援員研修(松岡)
- 12日：理事会

- 15日：総括①・部署別会議/処遇主任会議
- 16日：テーマ別研修会(戸川・二本・川鍋)/新任施設長研修
埼玉県子育て支援員研修(松岡)/川越児相管内連絡会(須藤)
- 18日：内科検診/みらいの森ワークショップ/Bブロック
スキーレク(～19日)
- 19日：ローラーブレード教室
- 21日：総括②/避難訓練
- 22日：施設長会(院長)
- 23日：埼玉研新任研修(戸川・新任職員)
- 25日：認定前里親研修(須藤)
- 26日：採用職員院内研修①(院長・基幹主任)

3月

- 1日：総括③/主任会議/
- 2日：公立高校入試(～3日)
- 5日：採用職員院内研修②(基幹主任)
- 8日：総括④
- 10日：公立高校受験合格発表
- 12日：ローラーブレード教室
- 14日：職員会議/書記会/避難訓練/
- 15日：霞ヶ関中・名細中卒業式
- 18日：激励会
- 19日：さくらレク
- 21日：施設長会(院長)
- 23日：霞ヶ関中・名細中卒業式
- 24日：霞ヶ関小終了式/Cブロック式レク
- 25日：評議員会・理事会

いつもありがとうございます。・12月11日～3月8日・



《寄付者》まいまいの会、セカンドハーベストジャパン、いせはらクリニック、時田重雄、川越市産業振興課、日本鏡餅組合、八百元、品川亮太、福田博之、望月和樹、奥富利明、長谷川裕、柄澤則夫、小熊走太朗、川畑明美 Oakキャピタル(株)、ほっともっと埼玉営業部、(株)アパマンショップネットワーク、矢作隆、科野日出子 毎日新聞東京社会事業団、オータ川島店、山本敏幸、日本スタンゲ(株)、芹沢和美、埼玉県書店商業組合、村田友子 山崎製パン従業員組合埼玉支部、服部正美、中村真奈美、三井住友海上川越支社、菅原忠、川越空幡郵便局 鈴廣かまぼこ(株)、坂間史朗、フィリップモリジャパン、セーブオン、ワールドメイト川越支部、前原様、星野宏 三上大知、毎日新聞社秘書室、中里舞砂、川島町社会福祉協議会、株式会社西村建設、原田妙子、日本出版クラブ 高星清、坪根一史、(株)NHKエデュケーショナル事業推進室、パンプキン、千代せい子、森倉理、奥富利明 カーブス鶴ヶ関店・川越店、齊藤明、子どもの未来を育てる会、瀬間由美子、パイオニア労働組合、倉片清 全国シャンメリー協同組合、三菱東京UFJ銀行、(有)アイワプランニング、楽天サンタプロジェクト、延命寺 NPO法人あかるいかわごえ、川越小江戸ライオンズ、福田博之、日本スタンゲ(株)、霞ヶ関カンツリー倶楽部 井上耀基、関本賢、元山クリニック、星野宏、川野直紀、鈴木宏昭、倉野謙二日本キリスト教団緑野教会 大泉ベテル教会、オータ狭山スロット館、高瀬範子、桑山静子、
《学習ボランティア》石塚定次、成田みぎわ、松尾雄一、山岸智也(本園)唐津輝夫、唐津明(GH松本)
《育児院だより発送》埼玉育児院サポートクラブ
《日中保育ボランティア》星野光明・亜紀子、杉田雅司・正枝、山崎博子、高柳雅子、桑原守弘・守恵、長内克利
《縫い物ボランティア》梅澤晃・幸子《スケート教室》森田夫妻、大竹拓己《剪定ボラ》西永徳生・山伝自治会
《書道教室》柳明雲、めいいうん書道教室の方々 (敬称略・順不同)

編集後記：今年度もあっという間に振り返りの時期を迎えております。今年一年どうだったか、来年はどうするか、皆さんは何をお考えでしょう。埼玉育児院では、すべての部署の職員が今年を振り返り、次年度の方針を打ち出す「総括」という取り組みをしています。今年の反省やできたところを発表し、他部署からの意見や質問を受け、次年度につなげていきます。育児院の職員にとって、1年で1番大きな事務作業でもあります。その総括も、先日やっとすべての部署が終わりました。ホッとしたのも束の間、入退所、卒業・入学とやっぱり春は忙しい季節です。